

RemoteView macOS UserGuide

RemoteView ASP macOS向けユーザーガイド

Version : 1.3.4

更新日 : 2022.10

お知らせ

Copyright © RSUPPORT Co., Ltd. All Rights Reserved

本マニュアルに記載されている事柄は、製品の性能向上または機能改善などにより、将来予告なしに変更する場合があります。

RSUPPORT CO., Ltd.は、本マニュアルで説明した特殊用途以外に、市場性及び適合性などに対してどのような保証もいたしません。

RSUPPORT CO., Ltd.は、本マニュアルに含まれた誤り、またはこの資料の供給や遂行または使用と関連して直接、間接、偶然、または必然的に発生した損害に対して、どのような責任も負いかねますのでご了承ください。

本マニュアルに対する著作権と知的所有権はRSUPPORT CO., Ltd.が所有し、この権利は国内の著作権法と国際著作権条約によって保護されています。したがってRSUPPORT CO., Ltd.の事前書面同意なしに、本マニュアルの一部、あるいは全体の内容を無断にコピー、複製、転載することは著作権法に抵触します。

Mac、macOSなどはApple Inc.の登録商標であり、著作権の保護を受けています。その他、本マニュアルに記載された他社所有の登録商標及び著作権、保護を受けている用語は、単に引用のためだけに使用されています。

本マニュアルのマークについて



利用上の注意事項です。
必ず指示に従ってください。



利用上の参考になる内容が
記載されています。

目次

1. RemoteView紹介	6
1.1 RemoteView とは?	6
1.2 サービスご利用のための使用環境	6
2.ご利用の準備	8
2.1 JDK をインストールする	8
2.1.1 OpenJDKをインストール	8
2.2 Simple ランチャー	9
2.2.1 Simpleランチャーをインストールする	9
2.2.2 Simpleランチャーを削除する	11
3.Agentとしてのご利用	12
3.1 RemoteView Agent をインストールする	12
3.2 Agent を削除する	15
3.3 一部の制限事項	15
3.4 遠隔制御のためのアクセス許可設定	16
3.5 Agent システムトレイ	19
4.Viewerとして利用（操作する側）	21
4.1 ホーム	22
4.1.1 制御設定	22
4.1.2 受信フォルダ開く	22
4.1.3 受信ファイルリスト表示	23
4.1.4 ビューアロック	23
4.1.5 RemoteViewプレイヤー	23
4.1.6 終了	23
4.2 マウス/キーボード制御	24
4.2.1 マウス/キーボード制御	24
4.2.2 マウス追跡	24
4.2.3 レーザーポインター（矢印/円）	24
4.2.4 Ctrl+Alt+Delキー転送/Activity Monitor	24
4.3 描画	25
4.4 画面	25

4.4.1	画面設定	25
4.4.2	遠隔モニター	25
4.4.3	画面ナビ	26
4.4.4	ズーム	26
4.4.5	自動調整	26
4.4.6	リアルサイズ	26
4.4.7	フル画面	26
4.4.8	遠隔画面ロック	26
4.5	ツール	27
4.5.1	画面保存	27
4.5.2	URL転送	27
4.5.3	ファイル転送	27
4.5.4	ファイル取り込む	28
4.5.5	クリップボード (Windowsを制御する場合のみ使用可能)	28
4.5.6	録画スタート	28
4.6	追加機能	29
4.6.1	システム情報 (Windowsを制御する場合のみ使用可能)	29
4.6.2	プロセス情報 (Windowsを制御する場合のみ使用可能)	29
5.	その他制限事項	30
5.1	キーボードキー互換性	30
5.2	システムサインイン時	30

本マニュアルについて

本マニュアルは、macOS で RemoteView を利用するのにあたって必要なインストール及び削除、操作方法について、Enterprise Version を基準に作成されたマニュアルです。

RemoteView は「Standard」「Enterprise」の2つのバージョンに分かれています。

インストール及び削除以外のオプションの設定方法や使用方法に関しては、各マニュアルを別途ご参考ください。

1. RemoteView紹介

1.1 RemoteViewとは？

RemoteViewは、遠隔地PCに「Agent」プログラムをインストールすることで、インターネットを利用していつでも、どこでもPCやモバイル端末から遠隔地PCに接続して、簡単かつ安全にリアルタイムで遠隔操作できるサービスです。

なお、最新の動作環境については弊社ホームページよりご確認ください。

1.2 サービスご利用のための使用環境

macOS端末のご利用推奨環境は以下のホームページよりご確認ください。

<https://files.rsupport.com/jp/remoterview/documents/features/remoterview-os-specification-jp.pdf>

macOS利用時の使用可能なビューアにつきましては、以下になります。

遠隔元 \ 遠隔地	Windows	macOS	
		10.15 以下	macOS11 以上
Windows	標準ビューア 改善型ビューア Web ビューア		改善型ビューア Web ビューア
mac	標準ビューア Web ビューア		Web ビューア

※注意事項

- ・ Windowsから改善型ビューアでmacOS 11に遠隔接続を行うには、macOSのシステム環境設定で「PrivacyAccessibilityEngine.app」の許可設定を行ってください。
 - ①アップルメニュー > システム環境設定 > セキュリティとプライバシー > プライバシー > 画面収録
 - ②アップルメニュー > システム環境設定 > セキュリティとプライバシー > プライバシー > アクセシビリティ
- ・ 遠隔元PCがmacOS M2、M1の Pro、MAX、Ultraの場合はWebビューアのみご利用いただけます。

RemoteView 使用までの流れ



- ① RemoteViewユーザーページに接続します。
- ② RemoteViewをウェブ上で起動させるために必要なプラグインをインストールします。
- ③ ※macOSの場合：JDK、ランチャー
- ④ ※Windowsの場合：ランチャー
- ⑤ 遠隔制御を行うために必要なAgentプログラムをインストールします。
- ⑥ ※macOSをAgent環境で活用する場合は必ずプラグインがなくてもインストールが可能です。
- ⑦ ※WindowsではAgentインストーラー起動にはプラグインが必要です。
- ⑧ RemoteViewをご利用いただけます。

2.ご利用の準備

AgentとしてmacOSを使用する場合は必要ありませんが、Viewerとして利用するためにはプラグインと、アプリケーションを起動するためのインストールが必要です。

2.1 JDKをインストールする

遠隔制御を行うために、JDKをダウンロードし、インストールする必要があります。

JDKがインストールされていない場合、Javaインストールを促すポップアップが表示されます。
そのポップアップの操作で移動されるページはJREのインストールページのため、ポップアップからの操作を無視し、上記のページをご利用ください。



2.1.1 OpenJDKをインストール

① 下記のURLにて最新のOpenJDKインストールファイルをダウンロードします。

URL : <http://jdk.java.net/archive/>

Releases		
14 GA (build 14+36)		
Windows	64-bit	zip (sha256) 190M
Mac	64-bit	tar.gz (sha256) 185M
Linux	64-bit	tar.gz (sha256) 190M
	Source	Tags are jdk-14+36, jdk-14-ga



② 「ダウンロード」フォルダからファイルを開き、
圧縮を解凍します。



③ 解凍されたフォルダをコピーします。
(Cmd + cでコピーできます。)



④ Finder> 「移動」メニューから
「フォルダへ移動」を選択し、「/Library/Java/Java
VirtualMachines/」
を入力します。



(フォルダが存在しない場合はフォルダを作成してください。)

⑤ 「/Library/Java/JavaVirtualMachines/」
フォルダの配下にjdkフォルダを貼り付けます。

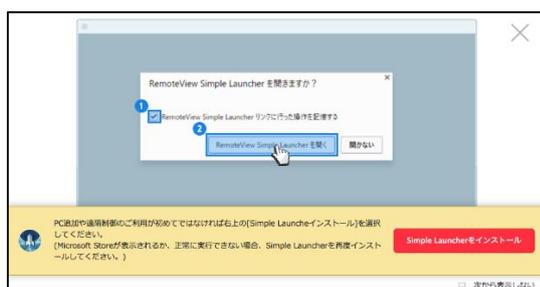


2.2 Simpleランチャー

Simpleランチャーはランチャーの情報をブラウザのCookie情報として登録します。ランチャーアプリケーションが自動的にアップデート通信を行わないため、ブラウザでログイン後の速度はRemoteViewランチャーより速いプラグイン方式です。

2.2.1 Simpleランチャーをインストールする

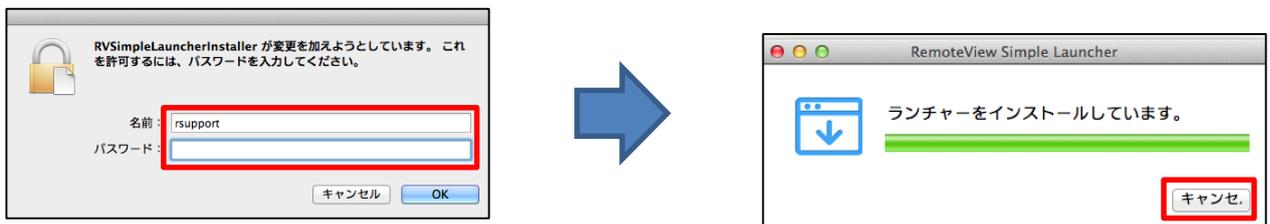
① Agentへの遠隔制御実行を行おうとした場合以下のポップアップが順次表示されます。



② ダウンロードしたファイルをダブルクリックしパッケージを解凍後、ファイルを実行します。



③ インストールするためにシステムアクセス権限が必要となります。Mac OS Xシステムの管理者権限情報を入力し「OK」をクリックします。インストールを開始します。完了するとインストール画面は自動的に消えます。

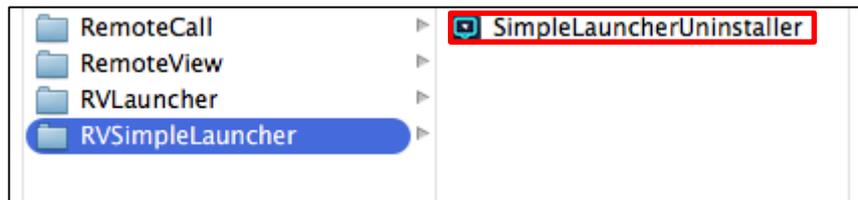


ブラウザによって、Simpleランチャーがインストールされていない状態に遠隔制御を実施した場合以下の画面が表示される場合があります。この場合、キャンセルを選択し、Simpleランチャーのインストールを進めてください。



2.2.2 Simpleランチャーを削除する

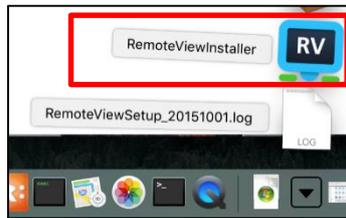
Finderのメニューバー > 移動 > アプリケーション > Rsupport > RVSimpleLauncher > RVSimpleLauncher > 『SimpleLauncherUninstaller』をダブルクリックします。



3. Agentとしてのご利用

3.1 RemoteView Agentをインストールする

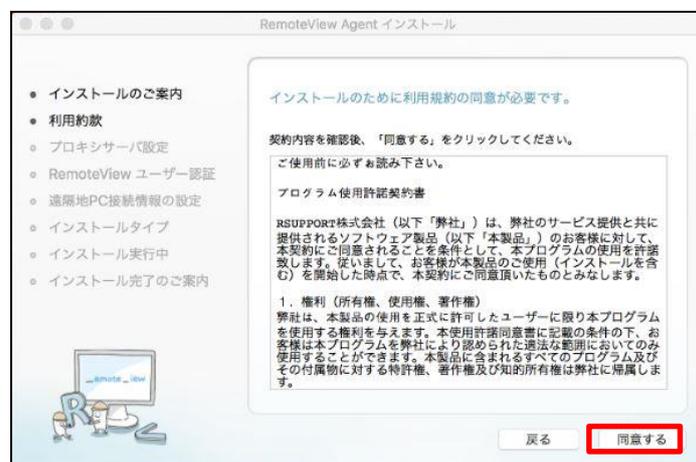
- ① RemoteViewユーザーページにログインし、「パソコンリスト」ページに移動します。
- ② 「パソコンリスト」でPC追加アイコン  をクリックします。
- ③ Agentがダウンロードされると、Dockに『RemoteViewInstaller』が表示されます。
『RemoteViewInstaller』をクリックし、実行します。



- ④ インストールの案内が表示されます。「次へ」をクリックします。



- ⑤ 利用約款を一読いただき、「同意する」をクリックします。



- ⑥ Proxyサーバ経由の場合のための設定です。使用しない場合「次へ」をクリックします。使用する環境の場合は、ご利用環境に適した設定情報を入力します。Proxyサーバ情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



- ⑦ パスワード情報を入力し、「次へ」をクリックします。



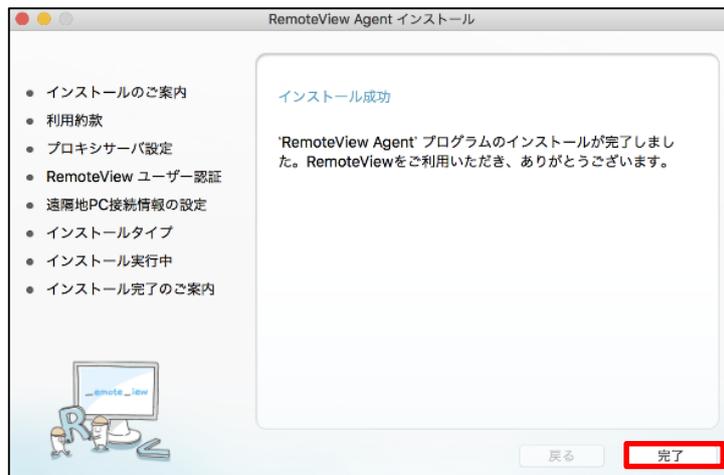
- ⑧ AgentにアクセスするためのAgentの接続IDとパスワードを設定し「次へ」をクリックします。



- ⑨ インストールするためシステムアクセス権限が必要で、macOSシステムの管理者権限情報を入力し「OK」をクリックします。



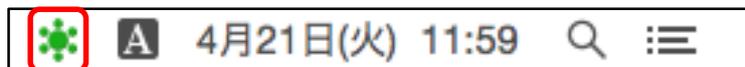
- ⑩ インストールが実行され以下のように表示されると、インストール完了です。



※macOS10.15以降の環境では権限設定ダイアログが表示されます。また、インストールを完了するためにシステムの再起動が必要になります。

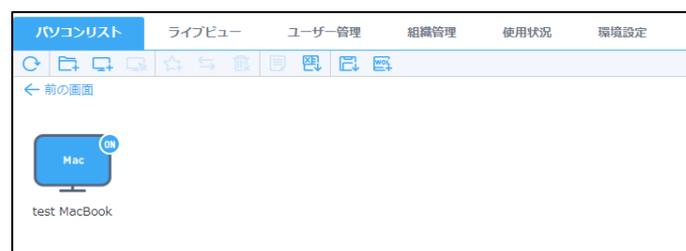
- ⑪ Agentインストール(遠隔地PC)が完了すると、自動アップデートが行われます。

Agentログイン後、画面右上トレイにRemoteViewのAgentアイコンが表示されます。



Agentログインできない場合は、Agentアイコンを右クリックし、ログインまたは再開を行ってください。

- ⑫ 登録されたAgent(遠隔地PC)は、RemoteViewユーザーページ > パソコンリストで確認することができます。



3.2 Agentを削除する

① Finderのメニューバー > 移動 > アプリケーション > RSupport > RemoteView > 『RemoteViewUninstaller』を実行します。

②

③ 以下のメッセージが表示されます。「確認」をクリックします。



④ ユーザーページへのログインアカウント情報を入力し、「確認」をクリックするとAgentが削除されます。



3.3 一部の制限事項

- ① macOS AgentはWOL (Wake On Lan) 機能に対応していません。
- ② macOSのプログラミングは正式にリリースされたハードウェアに最適化されているため、HackintoshなどのApple社で認定されていないデバイスでは動作できません。
- ③ Windowsで使用されるキーボードレイアウトとmacOSで使用されるキーボードレイアウトは差があります。
そのため、一部キーボード入力の動作の差が発生する場合があります。
- ④ macOS11 Agentは標準ビューア接続には対応しておりません。Webビューアと改善型ビューアをご利用ください。

3.4 遠隔制御のためのアクセス許可設定

macOS10.14Mojave以降の環境ではAgentをインストール・アップデートした場合、Apple社のmacOSのセキュリティポリシーにより、事前に以下の手順でアプリケーションの許可を行う必要があります。

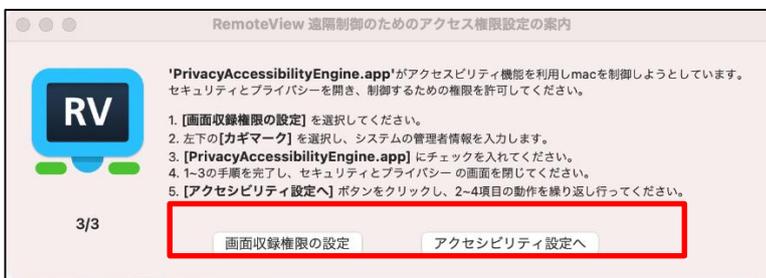
次のダイアログが表示されます。



Webビューア接続を許可するための権限：RVmacHost.app



標準ビューア接続を許可するための権限：RcEngMgr.app



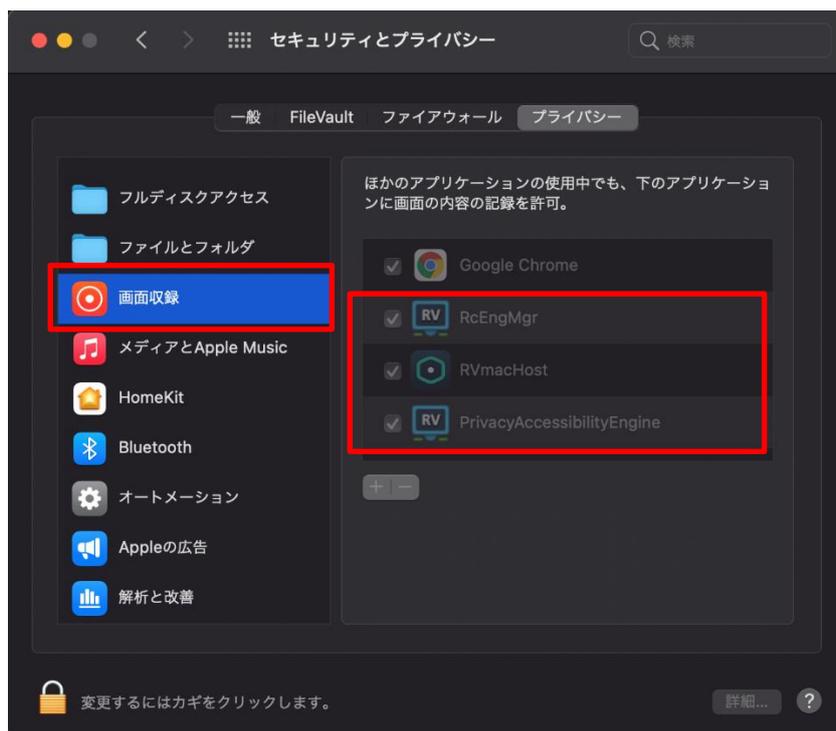
改善型ビューア接続を許可するための権限：PrivacyAccessibilityEngine.app

→すでに設定が終わっている項目はボタンが有効になりません。設定が終わるとポップアップが自動的に消えますので、その後サービスをご利用ください。

各権限設定情報は以下を参照してください。

① 画面収録権限設定：画面情報をViewerに転送するための設定です。

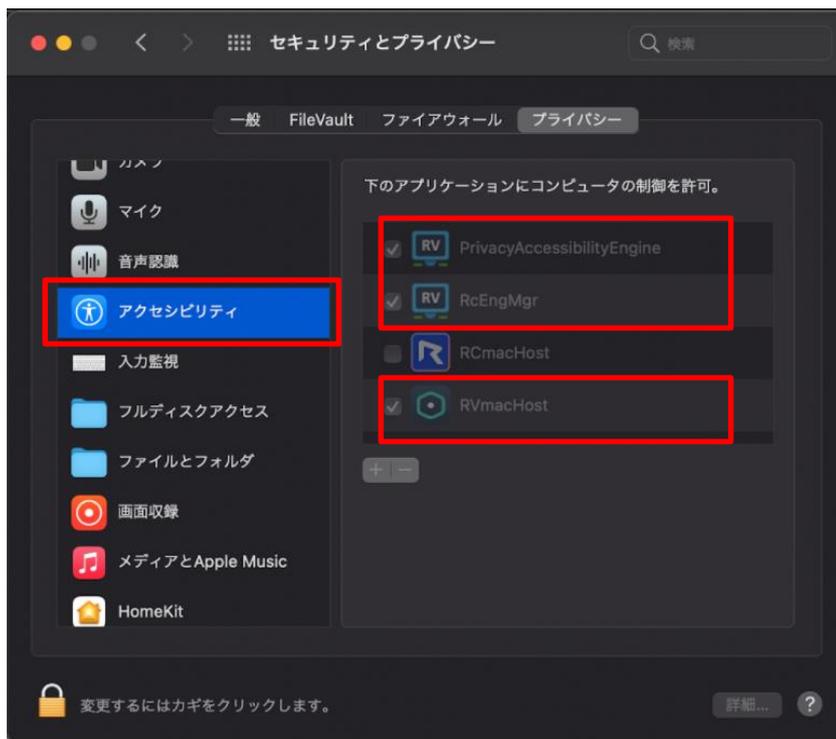
カギマークを選択して表示されるポップアップからmacOSのシステムの管理者情報を入力し、「RcEng Mgr：一般アプリケーションViewerで利用するプロセス」「RVmacHost：Webビューアで利用するプロセス」「PrivacyAccessibilityEngine：改善型ビューアで利用するプロセス」にチェックを入れます。
(macOS10.14では画面収録の権限設定は必要ありません。)



権限を取りこむためには権限設定をしたプロセスを再度起こす必要がありますので、表示される画面の指示に従い、「今すぐ終了」をクリックしてください。



② アクセシビリティ権限設定：PCを実際操作するための権限設定です。



カギマークを選択して表示されるポップアップからmacOSのシステムの管理者情報を入力し、「RcEng Mgr：一般アプリケーションViewerで利用するプロセス」「RVmacHost：Webビューアで利用するプロセス」「PrivacyAccessibilityEngine：改善型ビューアで利用するプロセス」にチェックを入れます。

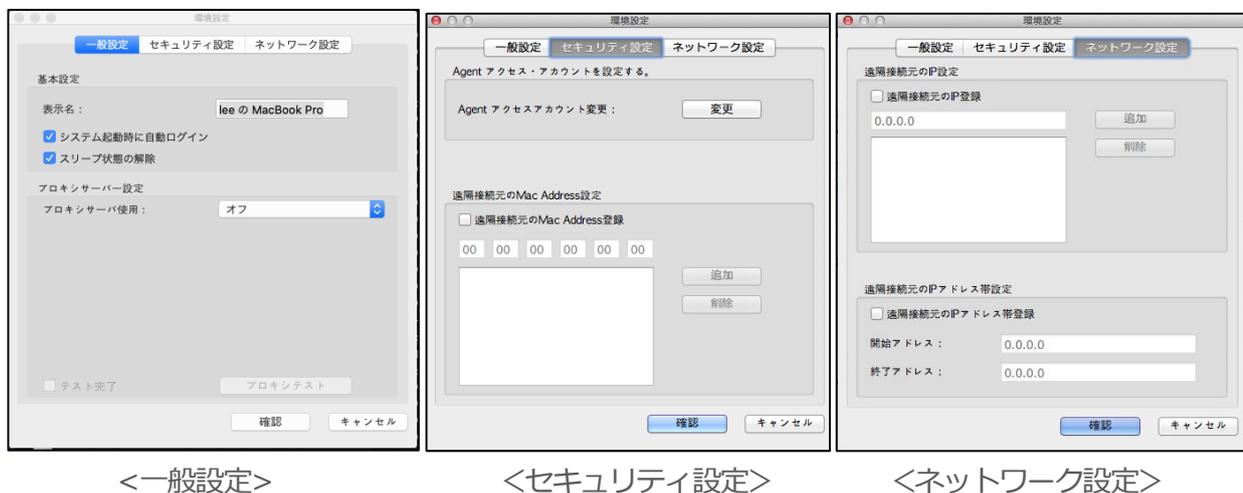
3.5 Agentシステムトレイ



RemoteViewはシステム内に常駐していないと必要な時に接続できないので、システムトレイに常駐します。画面上部に位置しており、右クリックすると以下のメニューが現れます。

メニュー名	説明
About	RemoteViewのCopyright情報が表示されます。
Homepage	RemoteViewのホームページに遷移します。
環境設定	通信環境設定、セキュリティ設定等を行うことができます。
ログイン	ログイン：サーバと接続を行い、遠隔接続ができる状態にします。
ログアウト	ログアウト：サーバとの接続を終了します。（遠隔接続ができなくなります。）
ログ表示	セッションサーバの接続情報、また、Agentに対して外部からのコマンドの情報を確認することができます。
終了	Agentが終了され、トレイアイコンにあるAgentが見えなくなります。

※環境設定の画面構成



メニュー名	機能名	詳細
一般設定	表示名	<p>パソコンリストに表示されるAgent名を変更する機能です。</p> <p>※入力条件：最大50文字まで入力できます。（英数字、日本語など）次の特殊文字(半角)は使用できません。</p> <p>¥ / : ? * < > " & % + ; ' </p>
	共有フォルダー	<p>遠隔エクスプローラの共有されるフォルダーを限定するために利用します。基本設定はすべてのフォルダーを共有するようになっています。</p>
	システム起動時に自動ログイン	<p>システム起動時Agentが自動ログインされます。</p> <p>チェックを外すとAgentは自動ログインをしません。</p>
	スリープ状態の解除	<p>スリープ状態では遠隔接続ができなくなります。本設定を有効にすることで、電源設定にかかわらずスリープ状態に入ることを回避することができます。（電源アダプター利用の場合のみ）</p>
	プロキシサーバ設定	<p>Agentでの通信をプロキシサーバ経由で行うとき設定します。</p> <p>Proxy環境が変更された場合、こちらから変更を行います。</p>
セキュリティ設定	Agentアクセスアカウント変更	<p>PCのオーナーがAgentID / パスワードを変更することができます。</p>
	遠隔接続元のMAC Adress登録	<p>該当MACアドレスを持つ端末のみ接続を許可します。</p> <p>※管理者アカウントの場合でも未登録ではアクセスできなくなります。</p>
ネットワーク設定	遠隔接続元のIPアドレス帯登録	<p>該当IPアドレスの範囲を指定し範囲内のIPを持つ場合接続を許可します。</p> <p>※管理者アカウントの場合でも未登録ではアクセスできなくなります。</p>
	遠隔接続元のIP登録	<p>該当IPアドレスを個別登録し、登録されているIPのみ接続を許可します。</p> <p>※管理者アカウントの場合でも未登録ではアクセスできなくなります。</p>

4. Viewerとして利用（操作する側）

遠隔制御の際、以下の順番で画面遷移によるViewer画面が表示されます。



<遠隔制御を選択→ Agentのアクセスアカウント情報認証→ Viewer画面が表示>

Macを遠隔制御する際と、Windows PCを遠隔制御する際に使用できるビューア機能は少し異なり、Macを遠隔制御する際は、一部機能が使えないため、灰色で表示されます。

● MacからWindowsを遠隔制御する場合



● MacからMacを遠隔制御する場合



4.1 ホーム



4.1.1 制御設定

遠隔制御開始時に適用される環境を設定することができます。(接続後も設定は変更できます。)

制御設定	ネットワーク	ネットワークの状態によってデータ圧縮の有無を選択します。 ・一般ネットワーク環境：データを圧縮して転送 ・高速ネットワーク環境：データを圧縮しないで転送
	制御モード	遠隔地PCの環境によって制御モードを選択します。 ・高速制御モード：仮想ドライバーで画面を検出 ・グラフィック制御モード：仮想ドライバーを利用せずに画面を検出
	画面色	RemoteViewのビューアに表示される画面色を選択します。
	画質	一般ネットワーク環境の場合、画質を調整します。
共有画面	遠隔解像度	遠隔地PCの解像度を調整することができます。
	遠隔色	遠隔地PCの色を調整することができます。
画面スクロール	自動スクロール	遠隔地PCの画面がローカルPCの画面より大きい場合、ビューアの下と右側にスクロールが表示されます。オプションを選択するとマウスの動きだけで上下左右へのスクロールができます。
	引っ張る	遠隔地PCの画面が大きい場合、画面をマウスでクリックした状態で引っ張り、その動きによって隠れている画面を確認することができます。

4.1.2 受信フォルダ開く

操作中に遠隔地PCからファイルを転送された場合に、保存されたファイルがあるフォルダを開きます。

※**ファイル保存先**：Home¥Rsupport¥ReceivedFile

4.1.3 受信ファイルリスト表示

遠隔操作中に遠隔地 PC からファイルを転送された場合、転送されたファイルリストを表示します。ファイル名をクリックするとそのファイルを実行することができます。

4.1.4 ビューアロック

遠隔地PCを遠隔操作中にローカルPCのユーザーが離席することになった場合、ビューアロック機能を実行すると、ビューアの全機能を使用できないようにすることができます。

ロックを解除する場合は、Agentアクセスの際に使用するパスワードを入力します。

4.1.5 RemoteViewプレイヤー

録画保存されたファイルを専用のプレーヤーを実行して再生することができます。

1. ビューアメニューの ⚡ クリック > 「RemoteViewプレイヤー」を実行させます。
2. プレーヤー左下にある 📄 ボタンをクリックし、再生する録画ファイルを選択します。
3. 再生ボタンをクリックすると、画面を再生することができます。

<プレーヤーメニューの説明>



- ① 再生する録画ファイルを選択することができます。
- ② 選択した録画ファイルの情報を確認することができます。
- ③ 選択した録画ファイルを再生します。
- ④ 録画ファイルの再生を終了します。
- ⑤ 現在再生中の録画ファイルの以前/次のファイルを再生します。
- ⑥ 再生速度を1~10倍で調整します。

4.1.6 終了

ビューアプログラムから遠隔地PCへの遠隔制御を終了します。

4.2 マウス/キーボード制御



4.2.1 マウス/キーボード制御

遠隔地PCと接続された場合、基本的にマウス/キーボード制御が有効な状態になります。

マウス/キーボード制御ボタンが有効な状態でない場合は、遠隔地PCを制御することができません。

4.2.2 マウス追跡

マウス追跡をクリックすると、遠隔地PCのマウスの動きをローカルPCで確認することができます。

4.2.3 レーザーポインター（矢印/円）

遠隔地PCに矢印/円の形のポインターを表示させ、遠隔操作の際に特定の位置や動きを簡単に案内することができます。

4.2.4 Ctrl+Alt+Delキー転送/Activity Monitor

- 遠隔地PCでCtrl+Alt+Delキーを押す必要があるときに使用します。(Mac to Windows)
- 遠隔地がMacの場合、Activity Monitorを実行します。(Mac to Mac)

4.3 描画

ローカルPCと遠隔地PCが同時にフリーハンド、直線、四角形、円をローカルPCに描画することができます。



4.4 画面



4.4.1 画面設定

ユーザーと遠隔地PC画面の解像度によって、色々な画面設定をすることができます。

4.4.2 遠隔モニター

遠隔地PCで2台以上のモニターを使用している場合、複数モニターを同時表示、または1モニターずつ表示することができます。

4.4.3 画面ナビ

遠隔地PCの画面がビューアより大きい場合、隠れている部分を表示させることができます。

4.4.4 ズーム

ローカルPCでビューアサイズの倍率を操作環境に合わせて25~200%倍率で調整することができます。

4.4.5 自動調整

ローカルPCのビューアサイズに合わせて遠隔地PCの画面を自動調整します。

4.4.6 リアルサイズ

遠隔地PCの実際の解像度でローカルPCのビューアに表示します。

4.4.7 フル画面

ローカルPCのビューア画面をローカルPCのモニターサイズに合わせてフル画面で表示します。

ツールバーの画面復元  アイコンおよび画面設定機能の画面復元を選択すると、フル画面を解除することができます

4.4.8 遠隔画面ロック

遠隔操作中、遠隔地PCの画面が他の人に見られないようにロックします。

(遠隔地PCのモニターをオフにする効果)

4.5 ツール



4.5.1 画面保存

遠隔制御中の遠隔地PCの画面をキャプチャし、ローカルPCにPNGファイル形式で保存します。

※**ファイル保存先** : Users/Shared/.remoteview/Rsupport/capture/保存した日付

4.5.2 URL転送

ローカルPCからURLを転送すると、遠隔地PCでウェブブラウザが起動され、URL先が開かれます。

4.5.3 ファイル転送

ローカルPCにあるファイルを遠隔地PCに転送します。

-送信するためのファイル選択ポップアップが表示されます。

-ファイルをビューア画面へDrag & Dropによるファイル転送方式も対応しています。

注 : macからmacへはDrag & Drop未対応、macからWindowsの場合は

WindowsからWindowsへの転送方式と異なり、以下のファイル保存に転送されます。

※**ファイル保存先（遠隔地PC）**：パブリックドキュメント¥Rsupport¥ReceivedFile（windows PC）
Users/Shared/.remoterview/Rsupport/receivedfile（macOS）

4.5.4 ファイル取り込む

遠隔地PCにあるファイルをローカルPCに取り込みます。

※**ファイル保存先**：Users/Shared/.remoterview/Rsupport/receivedfile

遠隔地PCからローカルPCにファイルを転送する際、接続案内ウィンドウの「ファイル転送」メニューを利用し、転送するファイルを選択、もしくは転送するファイルを接続案内ウィンドウにDrag & Dropすると転送することができます。



4.5.5 クリップボード（Windowsを制御する場合のみ使用可能）

ローカルPCと遠隔地PCのクリップボード内容を確認/同期することができます。

4.5.6 録画スタート

ローカルPCが遠隔地PCを操作する様子を録画することができます。録画終了後、録画ファイルはローカルPCに日別に自動で保存されます。

※**ファイル保存先**：Users/Shared/.remoterview/Rsupport/cam

注：上記のフォルダがhiddenフォルダ属性のため録画ファイルのmacos内で再生するためには別のフォルダに移動する必要があります。

※ 注意 ※

RemoteViewサービスの録画ファイルは、RSUPPORT独自開発のファイル形式(*.rsfx)のため、汎用的な動画プレーヤーでは再生できません。

4.6 追加機能



<Windowsを制御する場合>



<Macを制御する場合>

4.6.1 システム情報（Windowsを制御する場合のみ使用可能）

遠隔地PCのシステム情報(ハードウェア、ソフトウェア)を確認することができます。

4.6.2 プロセス情報（Windowsを制御する場合のみ使用可能）

遠隔地PCのプロセス情報の確認をしたり、実行中のプロセスを強制終了することができます。

5. その他制限事項

5.1 キーボードキー互換性

macOSとWindowsOS間のキーボードの互換性につきましては以下をご参照ください。

MacOS	WindowsOS
相互互換有り	
Option / Alt	Alt
Command (Apple)	Windows
Control	Ctrl
Delete	Backspace
Shift+マウス	Shift+マウス
Shift+英数	Shift+英数
Mac → Win のみ対応	
英数	半角/全角漢字
fn+←	Home
fn+↑	PgUp
fn+→	End
fn+↓	PgDn
Win → Mac のみ対応	
英数	無変換
かな	変換

※macOSからmacOSを制御する場合「英数」及び「かな」キーの相互互換性はありません。

- ・ Functionキーは接続元の入力が優先されるため対応できかねます。
- ・ MacOS側にはあり、Windowsにはないキーの相互互換はできかねます。（例：かなキー）
- ・ Windows側にはあり、MacOSにはないキーの相互互換はできかねます。
（例：カタカナひらがなローマ字、右クリックメニューキーなど）
- ・ OSの更新によるキーイベントの定義変更時、正常に動作されない場合があります。

5.2 システムサインイン時

macOSが遠隔地PCの場合システムログイン画面のログオフ状態からサインインした場合、デスクトップUIへ進まず、遠隔接続が切断されます。切断された場合、もう一度遠隔制御を実行してください。

Help Desk

本マニュアルにつきましてご不明な点がございましたら、
ご購入先又はオンラインヘルプデスクへお問い合わせください。

- ・製品ヘルプデスク

<https://help.rview.com>

- ・オンラインヘルプデスクお問い合わせ

<https://help.rview.com/hc/ja/requests/new>